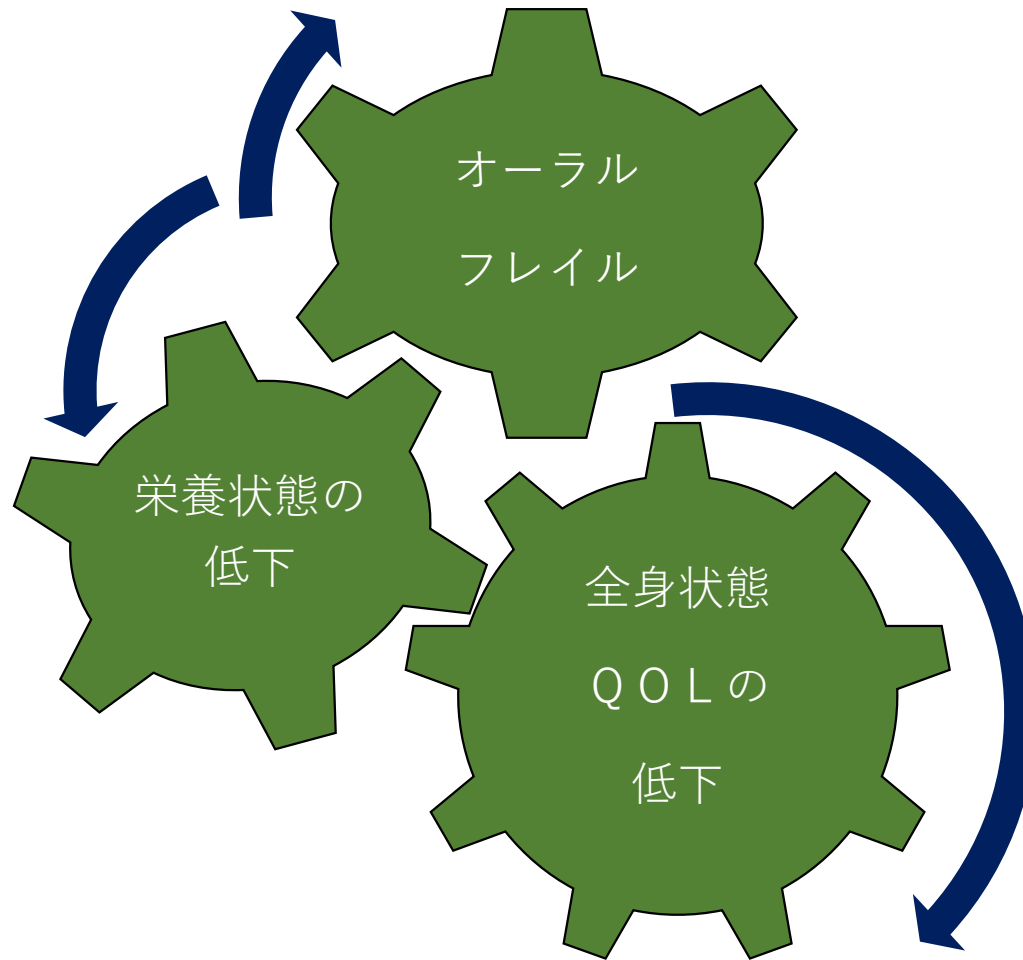


# デイサービスにおける歯科衛生士との 連携による口腔機能向上の取り組み

竜爪園 デイサービス ほっこりーな

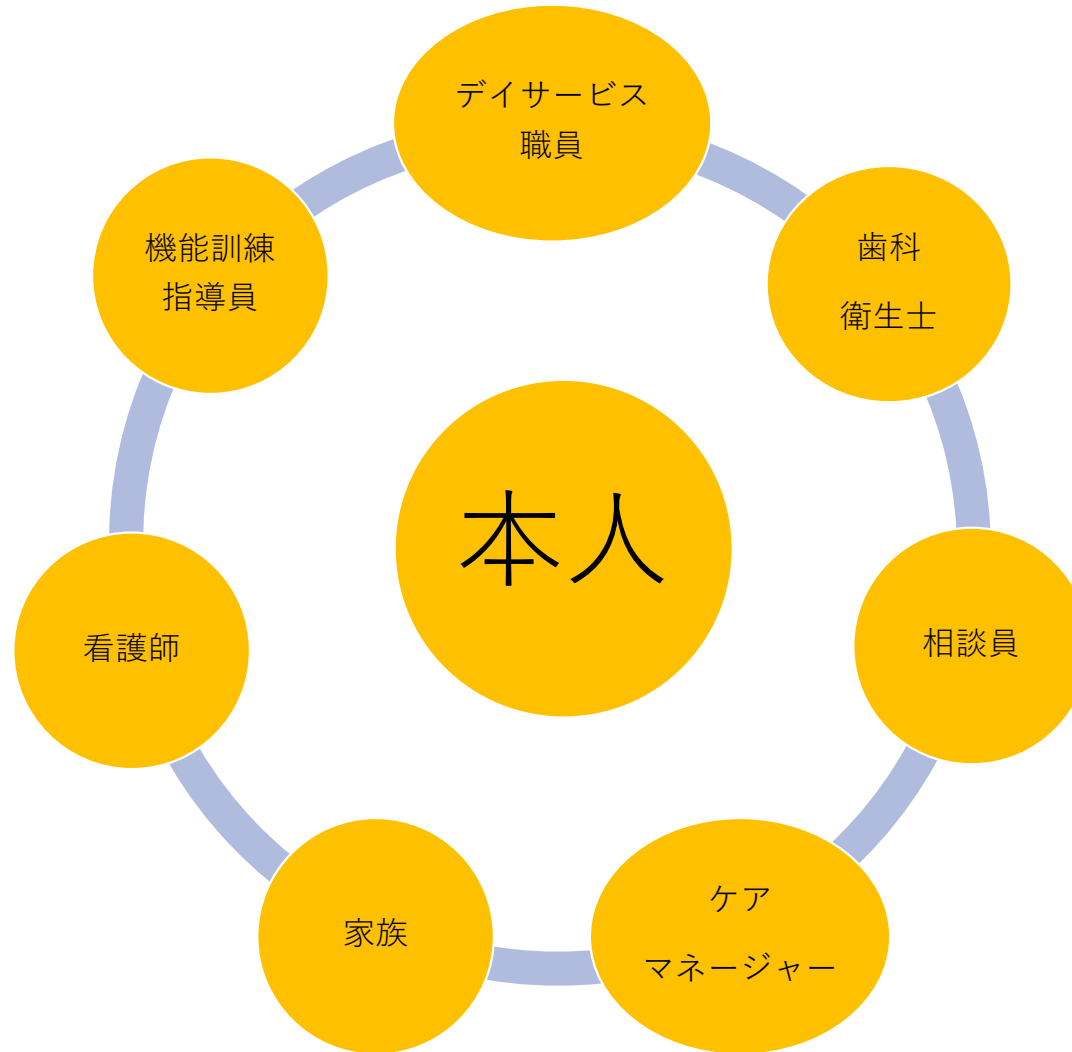
# 背景



※オーラルフレイル  
=口腔機能低下

# 目的

## 口腔機能の向上・職員の知識、技術の向上



# 対象

水分摂取時にトロミ剤を使用している2名

N・F様 102歳 介護度2

口腔内状況：上下総義歯 プラーク付着多い  
利用回数 週3回

デイでの口腔ケアには消極的 羞恥心がある

S・Y様 92歳 介護度1

口腔内状況：上下総義歯 プラーク付着多い  
利用回数 週4回

デイでの口腔ケアの習慣は無い。食事量が少ない。

## 取り組みの流れ

- ①対象者2名の口腔機能評価を歯科衛生士に依頼
- ②歯科衛生士による a:食事環境の確認 b:口腔機能評価
- ③食事環境の整備
- ④勉強会の実施を歯科衛生士に依頼・実施
- ⑤摂食確認シートの作成・記入
- ⑥対象者2名へ訓練メニュー決定・実行
- ⑦評価

# 勉強会について

回数：2講義・延べ11回(令和元年6月～7月)

- ・ 毎回1～2名のデイ職員に対し20分くらいの勉強会を開催
- ・ デイサービス職員全員に実施

内容：「口腔体操の効果」「高齢者の口腔内の特徴」



## 勉強会感想

- ・ ただ行うだけの口腔体操から意味を考えて行う体操に変化してきました
- ・ 勉強会の前と後では大きく意識が変わりました。
- ・ 食事中、今まではむせて苦しむ様子があると看護師さんに頼ろうとしていましたがむせやすいメニューの時には食べる時に声かけをしたり、食べる様子(スピードや一口の大きさなど)を注意  
してみるようになりました。
- ・ 食後の歯磨きでは、うがいの際残渣物があるか、残渣物の大きさからよく噛めているか等も観察できるようになりました。

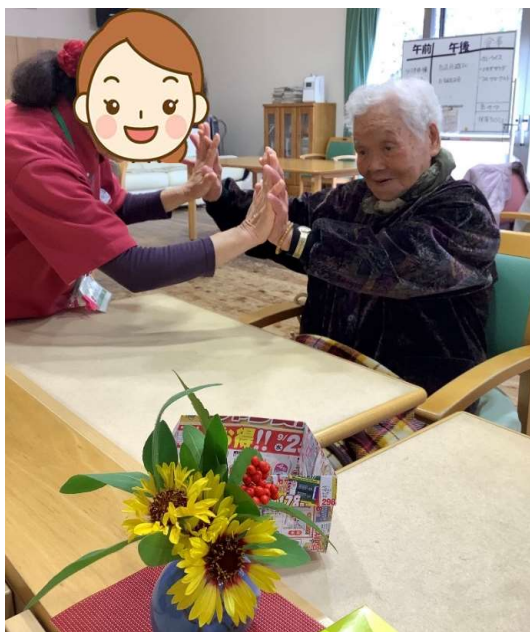


# 口腔機能向上訓練メニュー開始

令和元年9月～11月 週2回(火・金)

- 内容：
- ①プッシング体操
  - ②風車回し
  - ③ブクブクうがい
  - ④口腔衛生管理

①プッシング体操  
のどを鍛える  
嚥下する力を高める



②風車回し  
呼吸の訓練  
口腔周囲筋を鍛える



③ブクブクうがい  
口腔で保持する力  
口唇閉鎖力

④義歯清掃・粘膜ケア



# お二人の口腔機能の変化

Fさん

- ・ 風車は日に日に上手く回せるようになっていた  
うがいでの水を含んでいる時間の増加→口腔保持機能の向上
- ・ うすいトロミでムセが聞かれない

Yさん

- ・ 大きな声ができるようになった

# お二人の日常的な変化

## Fさん

- ・ 専門職が関わることで口腔ケアがスムーズにできた
- ・ 口腔ケアが習慣化できてきた
- ・ トロミを使用しなくてもムセが聞かれない

## Yさん

- ・ 体操の際、大きな声で数をかぞえてくださる様子みられる
- ・ 口腔ケアが習慣化できてきた
- ・ ご家族からは食事量が増えた
- ・ 水分でのムセは少し聞かれているが、喀出できている様子みられるためトロミは使用していない

## 結果・考察

歯科衛生士と連携をとり、取組みを行ったことにより対象者2名の口腔機能に改善がみられたと考えられる。

また、勉強会を実施したことによって、口腔ケアに対するデイサービス職員の知識・技術が向上し口腔体操、口腔ケアの際に効果的な支援ができるようになったと思われる。